

科目名 Course Name	家事支援技術Ⅱ Housework support technology II			ナンバリング No.	J4-004		
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	飯塚 晃代						
連絡方法	C-Learning で対応。 または栄養棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP2, DP3, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>自立に向けた家事の介護の仕方を学ぶ。 生活支援としての身の回りの整理・洗濯・掃除・ゴミ捨て・衣類及び寝具の衛生管理や修繕技術、家庭経済などの基本的な生活運営がスムーズにできるよう知識・技術を体得し、利用者の状況に応じた介助ができるようにする。 個別の生活リズムや個性を理解し、利用者ごとの家事支援のあり方を明確にし、利用者・家族・介護福祉士の連携のもとに家事の支援がスムーズに行えるよう実践力をつける。</p>						
授業の方法	<p>実態を踏まえた家事の介護に関する知識・技術を学び、適切な家事支援ができる実践力・応用力がつけられるよう実験・実習・グループワークを多く実施する。 そのため、習得した知識・技術を自身の生活の場で確認することで定着を図り、確実に力を身につけられるよう事前事後の学習も重視する。 また、国家試験に十分対応できる力をつけられるように授業を進める。</p>						
学習成果	L01	生活支援としての身の回りの家事の介助を意欲的に学び、基礎的な支援ができる。					
	L02						
	L03	<p>①利用者の状況に応じた、介助支援の領域を広げることができる。 ②家事支援の多領域にわたり、利用者の状況に寄り添った支援ができる。 ③利用者の状況に応じた介護支援がスムーズにでき、実践の場で細かな支援に気づき、行動できる。</p>					
	L04						
課題に対するフィードバック	レポートや授業ノート等の提出物は速やかに講評し、各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	<p>最新介護福祉養成講座 6 生活支援技術 I /中央法規出版 介護福祉士国家試験 受験ワークブック下/中央法規出版 授業時、プリント配布。参考書は随時紹介する。</p>						
履修上の留意点やルール等	<p>●提出物の期限厳守 ●資格取得科目につき、積極的な授業参加であること ●プリントを綴るファイルを用意すること ●材料費は自費負担とする。 ●事前・事後に費やすべき時間の目安はおおむね各回 45 分とする。</p>						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	遅刻・欠席がなく、意欲的に授業参加できたか。	10			
レポート/作品	授業ノートを綴りごとに提出し、理解度を測る。また、レポートや制作した作品等を観点別に評価する。いずれも期限を過ぎた場合は減点する。			50	
発表					
小テスト	基礎的な支援ができる知識・技術が身についたか確認する。	10			
試験	学習の定着を図り、国家試験に対応できる力があるか理解度を確認する。			30	
その他					
合計		20		80	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス 家事の意義と目的 家事支援時に念頭に置くこと 実習時に課題と感じたこと、介護福祉士として身につけたい家事支援技術について考える。
	事前・事後学習	訪問介護実習時の記録を振り返る。
2	授業内容	自立に向けた家事の介護① 衣服の修繕技術 基礎縫い(手縫い)【作品①】
	事前・事後学習	裁縫道具を整理し持参する。これまでに学んだ技術を振り返る。
3	授業内容	自立に向けた家事の介護① 衣服の修繕技術 基礎縫い(手縫い)【作品①】完成
	事前・事後学習	基礎縫いのプリントを確認しながら繰り返し練習し、技術の定着を図る。
4	授業内容	自立に向けた家事の介護② 寝具の衛生管理
	事前・事後学習	自宅の寝床環境や寝具の管理を見直す。
5	授業内容	自立に向けた家事の介護③ 衣類・寝具の材料 繊維の種類と特徴及び布の構造【実習】
	事前・事後学習	衣類の組成表示を見る習慣をつけ、繊維の特徴等を復習する。
6	授業内容	自立に向けた家事の介護④ 衣類の衛生管理 洗濯の方法1 取り扱い・絵表示、洗剤種類と界面活性剤のはたらき【実験 レポート】【小テスト】
	事前・事後学習	取り扱い・絵表示など国家試験頻出問題を繰り返し復習する。自宅で洗濯を実践する。
7	授業内容	自立に向けた家事の介護⑤ 衣類の衛生管理 洗濯の方法2 洗濯の具体的なポイント アイロンかけ【実習】
	事前・事後学習	自宅で洗濯やアイロンかけを実践する。
8	授業内容	自立に向けた家事の介護⑥ 衣類の衛生管理 しみ抜き【実験 レポート】 保管の方法(防虫剤の種類、保管場所の環境因子等) 和服の畳み方【実習】【小テスト】
	事前・事後学習	自宅でしみ抜きを実践したり、保管の状況を確認したりする。
9	授業内容	自立に向けた家事の介護⑦ 衣服の修繕技術 ミシンの活用 【作品②】
	事前・事後学習	次時の予定に合わせて、製作を進める。
10	授業内容	自立に向けた家事の介護⑦ 衣類の修繕技術 ミシンの活用【作品②】
	事前・事後学習	次時の予定に合わせて、製作を進める。
11	授業内容	自立に向けた家事の介護⑦ 衣類の修繕技術(ボタン付け他) 【作品②】完成
	事前・事後学習	作品製作を通して身についたこと、家事支援に役立てること等をまとめる。
12	授業内容	自立に向けた家事の介護⑧ 清掃 QOL 向上のための支援 掃除の仕方【実習】、高齢者の居室の掃除、ごみ捨て(分別)、エコライフ、支援の注意点等
	事前・事後学習	掃除の仕方など国家試験頻出問題を繰り返し復習する。自宅で掃除を実践する。
13	授業内容	自立に向けた家事の介護⑨ 家庭経営 家計の管理、消費者問題 年金等高齢者の家計、ものの購入等金銭管理の進め方、支援の注意点等 悪質商法 クーリング・オフ制度 支援の注意点等(購入方法の変化にも対応する)
	事前・事後学習	家計の管理、悪質商法やクーリング・オフ制度など国家試験頻出分野を繰り返し復習する。
14	授業内容	自立に向けた家事の介護⑩ 衣服のリフォーム・ユニバーサルデザイン 実習を振り返り、介護の際に有効な衣服のリフォームについて工夫点を考え話し合う。【グループワーク】 介護福祉士国家試験頻出問題の確認
	事前・事後学習	介護福祉士国家試験頻出問題を繰り返し解く。
15	授業内容	自立に向けた家事の介護⑪ まとめと確認 16 回目に試験(介護福祉士国家試験模擬試験を含む)を実施する。
	事前・事後学習	『家事支援技術Ⅱ』で学んだ介護福祉士に必要な知識・技術を振り返り、今後生かしていく方法を考えると同時に、試験合格に向け繰り返し学習する。